

# アプローチ

## 乙津川コース

- バス……海原橋東バス停から約5分



## 大在海岸コース

- バス……国立病院入り口バス停から約1分
- 自家用車……大在大分港線の国立大分病院入り口からクリーク側へ
- 駐車場……約10台収用可



### 自然を観察する心得

#### 観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

#### このコースで特に気をつけることがら

- 干潟の植物群落（とくにハママツナ、ハマサジなど）を足でふまないように気をつけましょう。
- カニ類の巣穴やフトヘナタリなどの貝をふみつけないように注意しましょう。
- 干潟は足がはまりこむことがあるので、十分に注意しましょう。



## フィールドストーリー

干潟とは、河口付近での満潮の時に水にひたされ干潮の時には陸上に現れる泥や砂でできた浜のことをいいます。干潟には、ほかの場所で見ることができないめずらしい植物や動物がすんでいます。最近、河口や海岸の工事のために、全国的に干潟の自然が失われていますが、大分市に残されているこの二つの干潟には、今でも自然の動物や植物が生活しているのです。

植物ではハママツナ・ハマサジ・フクド・ナガミノオニシバなどが、環境のちがうところにそれぞれ群落をつくっています。

このような植物や打ち上げられたゴミ・藻類などを食物として、トビムシ・ゴカイ・カニ・貝の仲間が多く生活しています。とくにカニ類の生活や行動の仕方はとても興味深いものがあります。

また、このような小動物を食べにたくさん鳥たちがやってきます。干潟は春と秋の渡り鳥の大切な休憩場所でもあるのです。

Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

## 自然観察ガイド

### No.3 乙津川・大在海岸コース

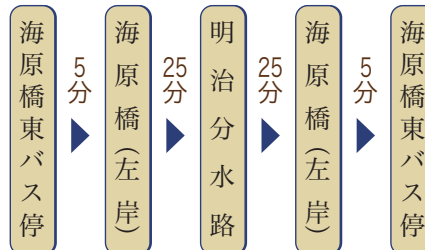


## コースタイム



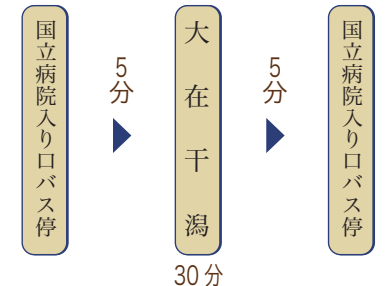
### <乙津川コース>

- 徒歩……約1時間（観察時間を入れて）



### <大在海岸コース>

- 徒歩……約40分（観察時間を入れて）



大分市



ハマポウフウ (夏)



ハマヒルガオ (夏)



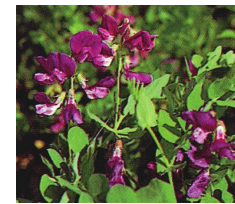
ハマサジ (秋～初冬)

# OITA 自然観察ガイド

## No.3 乙津川・大在海岸コース



コウボウムギ (初夏)



ハマエンドウ (春～夏)



コウボウシバ (夏)



コサギ



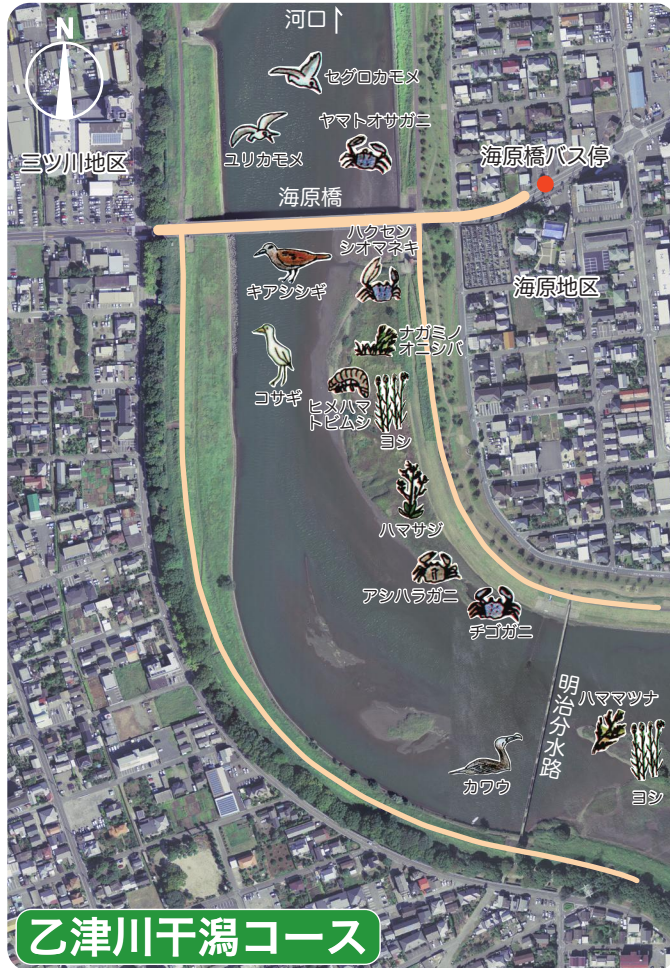
ヒメハマトビムシ



アシハラガニ



カワウ (冬)

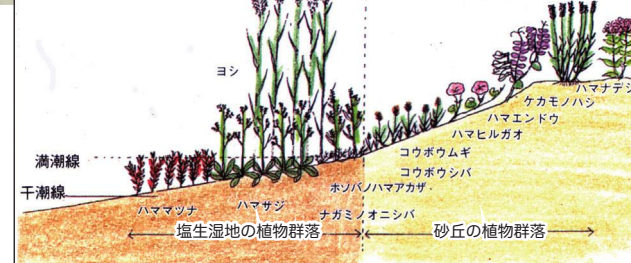


### 乙津川干潟コース



### 大在海岸コース

### 大在干潟の植物群落



ハママツナ (夏～初冬)



フトヘナタリガイ



シジミの仲間



ユビアカベンケイガニ



ニホンスナモグリ



ルイスハンミョウ (夏)



ハクセンシオマネキ

